

創造を「カタチ」にし
私たちの技術で街を豊かにする。



知的資産経営報告書2024年版

目次

I. ごあいさつ	2
II. 当社の紹介	3
1. 経営理念	3
2. 事業概要	4
3. SEVEN GROUPの連携	5
4. 沿革	6
III. 知的資産	7
1. 価値創造ストーリー	7
2. 知的資産	8
IV. 経営環境	9
中小企業者・小規模企業者の黒字廃業	10
V. 将来ビジョン	11
将来戦略と具体的な取り組み	11
VI. 企業概要	12
1. 企業概要	12
2. 知的資産経営報告書について	13

1. ご挨拶

代表挨拶

当社は、オフィスビル・マンション店舗・個人及び共同住宅・倉庫等のあらゆる建築物の調査・企画・デザイン・設計を行っております。特に福祉施設案件について豊富な知見を有しております。特別養護老人ホームや老人保健施設、デイサービスなど様々な形態の設計・施工実績を積み重ねています。

平成29年（2017年）の設立以来、特定建設業許可の取得、鹿児島支店の設立、ISO45001の認証取得などを経て、現在に至っています。お客様や協力会社様に支えられながら、確実に業容の拡大を図ることができました。また、歴史と実績を持つ各社をグループ会社として迎え入れ、建設サービスグループ「SEVEN GROUP」としての活動を開始しました。

コロナ禍も終息し、社会環境は大きな変化へ向かうタイミングとなっています。当社にとっても、今のタイミングが将来に向けた分水嶺であると考えました。そこで、自社の姿を自らが客観的にとらえ、今後の展開を検討することを目的として知的資産経営に取り組みました。そして、その内容を取りまとめたものが本報告書です。

知的資産経営の取り組みを通じて、「社内コミュニケーションをしっかりと、愛社精神を育てていること」「現場監督の育成を行っていること」「働きやすい現場環境づくりを行っていること」「事前の段取りをしっかりと行っていること」が当社の持ち味であり、強みであると認識できました。

今後もお客様より選ばれ続ける企業であるため、「営業エリアの拡大」「協力会社様との連携強化」「グループ経営強化」「人材の拡充」をテーマとしております。

今後とも、ご指導とご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

2024年1月

株式会社SEVET TRUST

代表取締役 黒岩 聖二



II. 当社の紹介

1. 経営理念



SEVENTRUST 7つの約束

セブントラストは、大切にしているお約束があります。

表面上だけではなく、お客様が本当に求めているものを汲み取り、万が一問題が発生した場合でも柔軟な発想で解決いたします。

そのために、豊富な知識と長年の経験から培われた確かな技術力を活かしつつ、常に効率化を進めます。

取引業者様やお客様としっかり向き合い、常に従業員への感謝を忘れず安全にプロジェクトを完了すること。

この当たり前を徹底して行い、「施工に関わるすべての人が満足し喜ばれる建築」を目指して社員一同精進してまいります。



II. 当社の紹介

2. 事業概要

建設事業

オフィスビル・マンション店舗・個人及び共同住宅・倉庫等のあらゆる建築物の調査・企画・デザイン・設計を行い、お客様のニーズに沿った施工をさせていただきます。建築物だけでなく道路舗装・造成工事など、土地地質調査も行っており、ダム・橋梁・法面など多種多様にわたるプロジェクトの設計から積算・測量・調査、また安全・品質・工程・原価管理までをサポートいたします。また、マンション・テナントビル等の内外装リノベーション・住宅のリフォーム・社宅等の2戸-1改造・造園リフレッシュ等のお客様のご希望に応じた設計・施工をさせていただきます。

～Our Policy～
SEVENらしく
SEVEN QUALITY



II. 当社の紹介

3. SEVEN GROUPの連携

株式会社SEVEN TRUSTを中核会社として建設サービスグループ

「SEVEN GROUP」を形成しています。

SEVEN GROUP各社が持つ強みを有機的に連携させることで相乗効果を生み出し、より大きな価値をお客様へお届けしています。



■東工建設株式会社

設立：2006年6月12日
住所：大阪市淀川区三国本町1-14-7

■株式会社エーデルホーム

設立：1991年12月3日
住所：大阪府寝屋川市豊里町46-32

■青野産業株式会社

設立：1978年12月1日
住所：大阪府堺市堺区翁橋町2丁目3番3号

■株式会社ユニックス

設立：1978年3月1日
住所：東京都豊島区東池袋4-38-10

II. 当社の紹介

4. 沿革

株式会社SEVEN TRUST設立

平成29年



資本金3,000万円増資
特定建設業 許可取得 (特-2 第151381号)
一般建設業 許可更新 (特-5 第151381号)
鹿児島支店設立

令和3年

鹿児島県薩摩川内市旧東郷中学校跡地にてフィットネスクラブ事業、スポーツジム・シミュレーションゴルフ事業を開始
資本金1,500万円増資
大阪本社にてISO45001
(労働安全衛生マネジメント) 認証取得

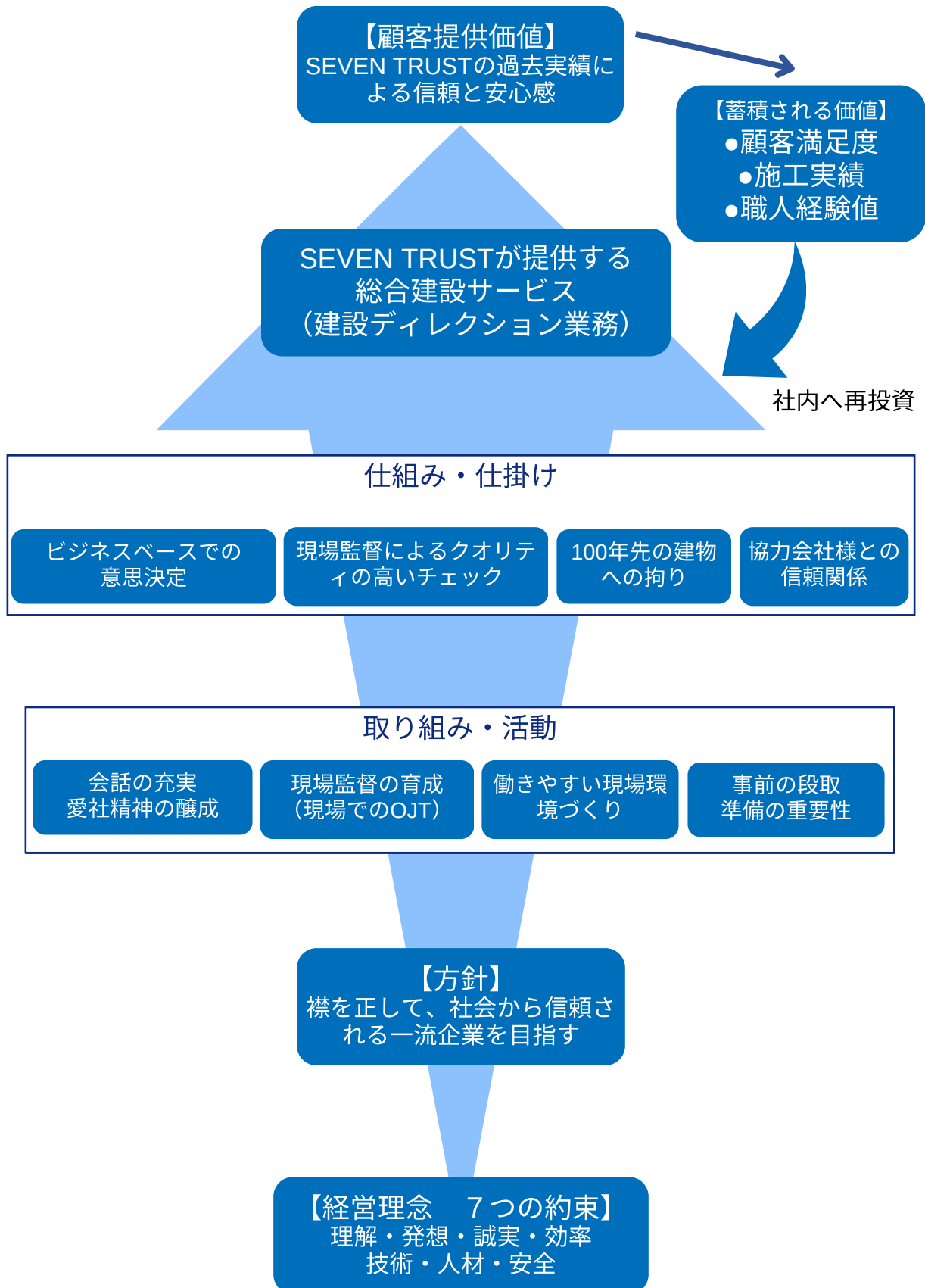
令和4年

OHS 778770 / ISO 45001



III. 知的資産

1. 価値創造ストーリー



III. 知的資産

2. 知的資産

■社内コミュニケーションの充実と愛社精神の醸成

社内ではコミュニケーションが取りやすい環境作りを常に意識しています。社長・経営幹部・社員の距離感が近く、しっかりと価値観の共有ができています。しっかりとコミュニケーションをとることで、お客様対応の現状や、社員や現場レベルで抱えるトラブルを未然に防ぐ、最小限に抑える効果があります。

■現場監督の育成

現場監督の育成と教育に力を入れています。特にOJT（On the Job Training）に力を入れており、上司が部下に、先輩が後輩にこまめに指導することで、現場管理能力の向上に取り組んでいます。

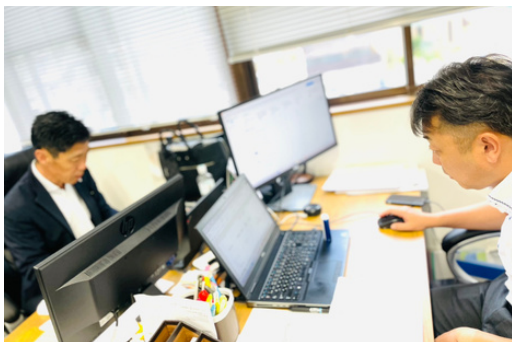
■働きやすい現場環境づくり

働く現場環境の整備に必要不可欠な社員全員の声を聴くことを意識しています。安全対策、熱中症対策、休憩所など、現場作業員の皆さんも含めて安心して現場で働けるよう時代に合う現場環境を作っています。

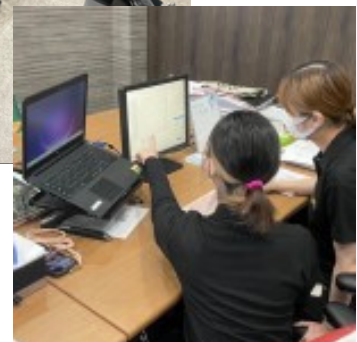
■事前の段取り・準備の重要性

工事着手前の安全書類作成や事前の現場環境整備、行政との事前協議など、前もってしっかりとした段取りを行ない、効率や安全につなげることを常に意識しています。

大阪本社 建設部



鹿児島支店 建築・土木課
フィットネス事業部



Ⅲ. 知的資産

■ ビジネスベースでの意思決定

関係者の方々とは、建設的な協議をできる関係性を保つよう意識をしています。コンプライアンス遵守をベースとし、役割・責任を不明確にせず、節度をもって公正な関係で仕事を行っています。

■ 現場監督によるクオリティの高いチェック

現場にかかわる人々の意思を尊重し、日常的な判断は、作業員の皆さんにお任せをしています。しかし、任せっぱなしにすることはなく、現場監督が「お客様が満足する品質に仕上がっているか？」について、厳正な目でチェックしています。

■ 50年・100年先の将来を見据えた建造物への拘り

見えないところにも手間暇を惜しまないということに、こだわりを持っています。目先は5年先、10年先ですが、弊社は50年・100年とお客様が快適に建物を使い続けられるよう、細部までこだわりを持って建築しています。

■ 協力会社様との信頼関係

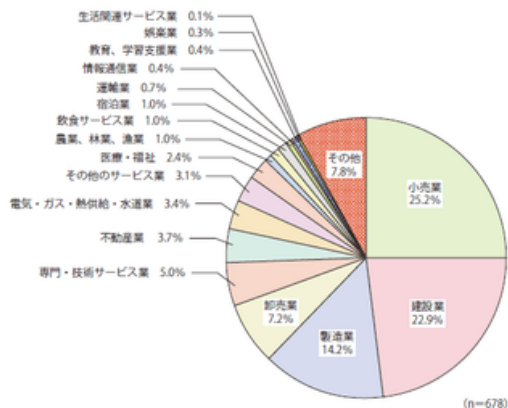
担当者同士の信頼関係をベースとして、協力会社様と当社との信頼関係が構築されています。こまめな情報交換や、早い段階での懸念事項の報告・連絡・相談など、日々の活動の積み重ねが信頼関係の厚さを生み出しています。



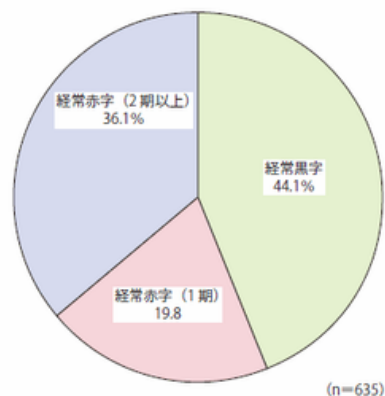
IV. 経営環境

中小企業者・小規模企業者の黒字廃業

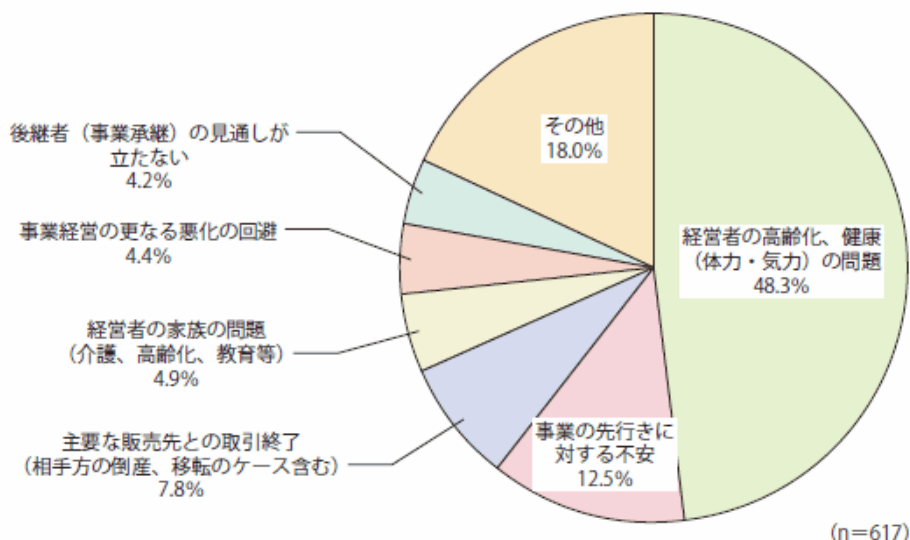
第 3-3-25 図 廃業した企業の業種内訳



第 3-3-27 図 廃業時の経営状況



第 3-3-31 図 廃業を決断した理由



出典：中小企業庁「2014年版中小企業白書」

我が国では、経営者の高齢化や後継者不足などの理由により、多くの企業が毎年、廃業を決断しています。廃業する企業のうち2割強が建設業で、黒字であるにもかかわらず廃業する企業も多く存在します。

力量の高い建設事業者が廃業してしまうことは、国益に大きな影響を与えるものです。SEVEN GROUPでは今後も、有能な建設事業者を積極的に仲間として迎え入れ、グループ経営の強化に取り組んでいく計画です。そして、豊かな街づくりと日本社会の発展に貢献していきたいと考えています。

V. 将来ビジョン

将来戦略と具体的な取り組み

これからの戦略、テーマ、方針（選ばれ続ける組織になるために）

- 営業エリアのを全国区へ ■協力会社様との連携強化・取引数の拡充
- M&Aによるグループ経営の拡大（グループに必要な事業のみを買収）
- SEVEN TRUSTの人材拡充（本社15名＋支店5名を目指す）
- 現状の主力である大型物件に加え、小規模工事関係も数多く手掛けていく
- 結果へのコミット（社内目標・現場目標・利益への拘り）

目標年

目標値

■2030年

■SEVEN GROUP全体売上 100億円を目指す

将来戦略を
実現するために

具体的な取り組み

《人的資産》

- 積極的な人材採用 ■人材の教育と育成 ■建築施工管理技士（1級・2級）の確保

《組織資産》

- 資格取得支援制度の整備・拡充 ■人事評価制度の整備
- 新たな工法や建材の提案活動 ■当社の取り組みについて積極的に情報発信
- 権限と責任の明確化

《風土資産》

- 所属長とメンバーにおける活発な意思疎通や情報共有
- 「進化し続ける」という共通認識を持つ ■新しい事への挑戦しやすい環境へ

社会貢献の視点

デジタル技術活用の視点

- 地域活性につながる街づくり

- 建設に活用できる情報技術の模索

認証取得の視点


関係資産構築の視点

- ISO9001（品質マネジメントシステム）の認証取得を将来的に目指す

- 協力会社様との意思疎通
- グループ各社との意思疎通
- ファンド、リートとの関係づくり

VI. 企業概要

1. 企業概要

社名	株式会社SEVEN TRUST
設立	平成29年1月11日
代表者	黒岩 聖二
資本金	50,000,000円
許可・登録	建設業許可 大阪府知事許可(特-2)第151381号 大阪府知事許可(特-5)第151381号
ISO認証	大阪本社 ISO認証取得 OHS 778770 / ISO 45001 
事業所	【本社】 〒578-0904 大阪府東大阪市吉原2丁目10番31号 TEL：072-975-5667 FAX：072-975-5668 【鹿児島支店】 〒895-1106 鹿児島県薩摩川内市東郷町斧淵600-3 TEL：0996-41-5280 FAX：0996-41-5283
営業品目	<ol style="list-style-type: none">1. 建築工事業・土木工事業2. 住宅、店舗の増改築、建替及び建物リフォーム業3. 建築の企画、設計並びにコンサルタント業務4. 建設資材・建設機械の販売5. 一般廃棄物、産業廃棄物の収集、運搬6. 不動産の売買、仲介、賃貸及び管理業7. 経営コンサルタント業8. 古物営業法に基づく古物売買9. インターネットを利用した通信販売業務10. ギフト商品・カタログ商品の販売11. 上記各号に附帯関連する一切の業務

2. 知的資産経営報告書について

【知的資産経営報告書とは】

「知的資産」とは、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、クライアントとのネットワークなど財務諸表には表れてこない、目には見えにくい経営資源を意味します。「知的資産経営報告書」とは、見えにくい経営資源、即ち非財務情報を、債権者、株主、クライアント、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）の形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。平成17年10月に経済産業省から「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠しています。

【知的資産経営報告書の掲載内容について】

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。そのため、将来にわたり当社の取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生ずることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことをご了承願います。

【知的資産経営報告書のお問い合わせ先】

株式会社SEVEN TRUST 本社
大阪府東大阪市吉原2丁目10番31号
TEL：072-975-5667

街と人を豊かに。



<https://seventrust.jp/>
